

地元自治体意見のまとめ（1）

	区名	対象施設名	後利用等についての主な意見・提案
1	江東区	オリンピックアクアティクスセンター	<p>(既存の辰巳国際水泳場の大会後のあり方も含む)</p> <p>◎スポーツ施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 2つの施設とも地域住民が日常のスポーツ活動を行える施設として活用。 2つの水泳場が近接するため、いずれか一方を新江東清掃工場の排熱を利用し、アイススケート場の機能を付加。 2つの施設ともまちの活性化とスポーツによるコミュニティ形成のため、競技場と周辺駅・商業施設などとの連携を強化し、にぎわいを生む機能を導入。
		海の森水上競技場	<p>◎水辺に親しむ施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 海の森の当初の整備計画のとおり、「ふれあいの林」「観察と保全の海辺」の整備を行い、地域の生物多様性の保全・創出と都内における貴重な海辺の環境学習の場とするなど、区民が水辺に親しめる施設。
		有明アリーナ	<p>◎地域コミュニティの核となる施設</p> <ul style="list-style-type: none"> まちのシンボルとなり観光振興にも寄与するよう木構造により整備。 有明北、豊洲ふ頭（人口フレーム：5万1千人）における居住地の中心部に位置することから、カフェ、ショッピング施設、スポーツジム等、地域コミュニティの核となる機能を導入。 国際展示場駅や有明駅からの人と車の移動空間を分離したユニバーサルデッキを整備し、後利用に活かす。
		夢の島公園（アーチェリー）	<p>◎スポーツ施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民が日常のスポーツ活動を行える施設として活用。 まちの活性化とスポーツによるコミュニティ形成のため、競技場と周辺駅・商業施設などとの連携を強化し、にぎわいを生む機能を導入。
		若洲海浜公園ヨット訓練所	<p>◎スポーツ施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもや障害者を含め、多くの人々が気軽にスポーツ活動を行える施設として活用。

地元自治体意見のまとめ（２）

平成27年1月16日
オリンピック・パラリンピック準備局

	区名	対象名	後利用等についての主な意見・提案
1	江東区 (つづき)	その他	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 新木場駅・夢の島間のデッキの整備 <ul style="list-style-type: none"> → 新木場駅からのデッキなどによる歩車分離の歩行者動線の確保は、大会開催時だけでなくその後の利用としても必要。 ◎ 有明地区のにぎわい創出 <ul style="list-style-type: none"> → 有明テニスの森・コロシウムブリッジを通り台有道路に抜ける園路に、カフェ、ショッピング施設、スポーツジムなど、にぎわい機能を付加。 ◎ 交通網の整備 <ul style="list-style-type: none"> → 地下鉄8号線の早期整備、バス路線等を充実させることで、臨海部に集中している施設群と区既成市街地とを結ぶ南北交通を機能させる。 また、都心とのアクセスを強化するため、都市型ロープウエーなどを整備 ◎ 競技施設建設の際に配慮する点 <ul style="list-style-type: none"> → 地域の防災性強化に資する機能の付加、最新省エネ技術の導入、景観形成に資する建物の緑化、近接運河からの動線、舟運との連携、障害者への配慮。 ◎ 災害対策での活用 <ul style="list-style-type: none"> → 競技施設について、地域住民を対象とした避難所、大災害が発生した場合の帰宅困難者の一時滞在施設の充実化。 ◎ 船着場の整備 <ul style="list-style-type: none"> → 海上交通を利用した観光での利用や、帰宅困難者等の広域輸送・物資輸送等の防災上の活用。 ◎ 障害者支援 <ul style="list-style-type: none"> → 開催後の競技場や競技場跡地等を利用して、障害者支援施設や障害者スポーツの拠点施設などを計画。
2	品川区	大井ホッケー競技場	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホッケーのみならず、多目的な利用が可能な施設（最大限の希望として、野球もできるとよい。）。 ・ できるだけ野球場を残し、大井ふ頭中央海浜公園内の他のスペースを活用した整備。 ・ 野球場を活用する場合は、代替施設を確保。 ・ 大井ホッケー競技場までのアクセスの充実。

地元自治体意見のまとめ（3）

平成27年1月16日
オリンピック・パラリンピック準備局

	区名	対象名	後利用等についての主な意見・提案
3	大田区	海の森水上競技場	<ul style="list-style-type: none"> ・ボート、カヌーで活用できる施設 <ul style="list-style-type: none"> → 都民が水辺に親しめるシーカヤック体験ができる施設にしてほしい（艇庫、クラブハウス、タラップ（海上エントリー用）等の整備）。 大学サークル活動で活用（ボート競技の練習・試合）できる施設。 戸田漕艇場で開催されている「全日本選手権大会」「全日本大学選手権」「全日本新人選手権」や、お台場海浜公園で開催されている「お台場レガッタ」等既存大会を誘致。 スポーツ団体が現在多摩川で開催している小中学生へのカヌー指導のうち半分を実施。 日曜・祭日に少年団のボート・カヌーの訓練用に施設の一部を開放。 ・他の競技で活用できる施設 <ul style="list-style-type: none"> → トライアスロン競技大会の会場として利用できる施設。 大学サークル活動で活用（トライアスロンの練習、魚釣り場など）できる施設。 ・レジャーに活用できる施設 <ul style="list-style-type: none"> → ラジコンのボート、ジェットスキー、プレジャーボート、水上スキーなどを走らせることができる水上公園としての利用可能性を検討。 野鳥観察会、海の生物観察会等で利用。 競技会場を題材にした絵画展、写真展の開催。 ・産業振興に活用できる施設 <ul style="list-style-type: none"> → 研究開発や試作を手掛けている製造系中小企業が、製品開発や試作品製造のための実験・実証に水面を活用できる施設 <p>・競技場単体では利用者数の定着が難しいと見込まれるので、商業施設、飲食店の併設など周辺の整備。</p>
		大井ホッケー競技場	<ul style="list-style-type: none"> ・他の競技で活用できる施設 <ul style="list-style-type: none"> → スタンドが設置されるスポーツ施設は希少であるため、できるだけ多くのスポーツに対応できる施設。 大学サークル活動に活用（アメリカンフットボール及びフットサルの試合・練習）できる施設。 メインピッチは、サッカーコートがとれる大きさ（国際規格：105m×68m）でホッケーコートの整備。 夜間照明が整備されたサッカー等の練習場所として一般利用者に提供。 ・区の整備と関連した施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> 大田区では、臨海部をスポーツ健康ゾーンとして整備する方向性を持っており、様々なスポーツに利用できる公園整備に取り組んでいる。 ホッケー場が整備される大井ふ頭中央海浜公園内の第二球技場は、現在サッカーができる貴重なスペースとして、多くの方が利用している。 大会後のホッケー場は、ホッケーに利用を限定することなく、現在の公園利用者が引き続き、サッカー等にも利用できるように配慮してほしい。

地元自治体意見のまとめ（４）

平成27年1月16日
オリンピック・パラリンピック準備局

	区名	対象名	後利用等についての主な意見・提案
4	江戸川区	葛西臨海公園 (カヌー(スラローム))	<ul style="list-style-type: none"> • レジャー施設としての活用 <ul style="list-style-type: none"> → ファミリーで楽しめる「プール」 コースを利用した、安全で流れ下ることができる「流れるプール」 • カヌー競技場としての活用 <ul style="list-style-type: none"> → オリンピック・パラリンピック競技大会後も国際大会が誘致できる施設 初心者などを対象に、カヌー競技者人口のすそ野拡大が期待できる施設 子供を対象にした将来の競技者育成が期待できる施設 カヌーポロ競技が可能な広さを備えた会場 日中のプール利用後、夜間に利用可能な照明施設を備えた会場 • その他の競技場としての活用 <ul style="list-style-type: none"> → ラフティングなどカヌー競技以外のスポーツにも活用できる施設 • 施設運営は実績と信頼ある安定した機関にまかせること。